

2軸疲労試験(2方向载荷試験)

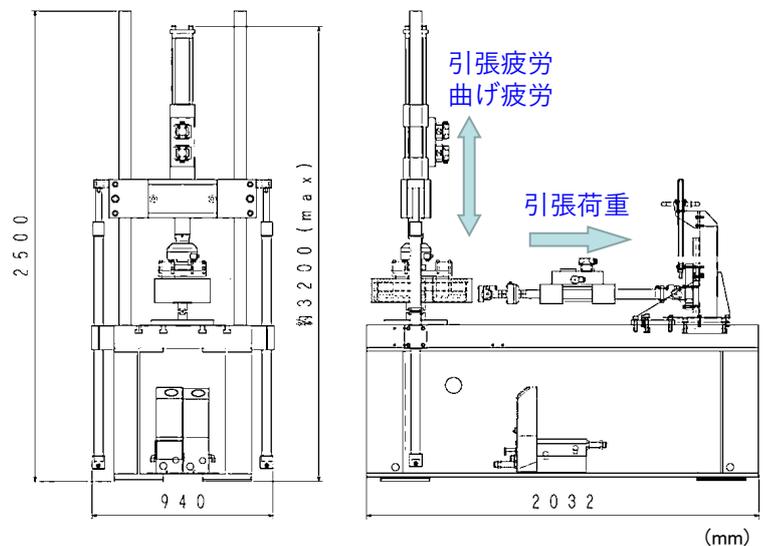
2軸応力条件下で使用される金属材料・構造部品などの疲労特性を評価します。

試験の特徴

- 2つのアクチュエータを組み合わせることにより、2軸応力条件下のみならず、様々な負荷モード下における疲労特性を評価できます。
- テストベッドを有しているため、部材引張圧縮／曲げ疲労試験も実施可能です。

実施可能な試験

- 引張荷重 + 垂直方向引張疲労
- 引張荷重 + 垂直方向曲げ疲労
- 引張疲労 + 垂直方向引張疲労
- 引張 + 引張 (2軸引張)
- 純せん断試験
(せん断方向荷重 + 垂直方向キャンセル荷重)
- テストベッド上での部材引張圧縮／曲げ疲労
- テストベッド上での部材・部品の耐久性試験



試験装置寸法と荷重負荷方向イメージ

試験装置

- 装置構成: 2軸アクチュエータ(垂直方向50kN + 水平方向25kN) + テストベッド
- 最大荷重: ±50kN(垂直方向)、±25kN(水平方向)
- 最大ストローク: ±50mm(垂直方向、水平方向)
- 制御モード: 加振機変位(速度)、荷重
- 最大加振速度: 0.5m/s
- せん断試験時速度: 0.1~1mm/min.



試験装置外観